第 129 回公開講演会

令和５年 11 月 11 日（土）

西隆寺の記憶

高橋知奈津（文化遺産部）

１．大和西大寺駅の成り立ち

・大正３年（1914）大阪電気軌道 上本町～奈良駅間が開通。西大寺駅開業。

・大正９年（1920）畝線開業に伴い、150ｍ西へ移転。

・大正 10 年（1921）棚田嘉十郎らによる土地の買い上げ

・大正 11 年（1922）平城宮跡史跡指定

・昭和３年（1928）奈良電気鉄道 桃山御陵駅～西大寺駅間開通。十字平面交差。

・昭和 6 年（1931）奈良市の都市計画区域を決定。

・昭和 7 年（1932）大軌西大寺駅に改称。

・昭和 16 年（1941）大和西大寺駅に改称。

２．戦後の奈良の発展と、大和西大寺駅界隈

・昭和 20 年（1945）アメリカ軍奈良市進駐。

・昭和 25 年（1950）奈良国際文化観光都市建設法、成立。

・昭和 27 年（1952）平城宮跡特別史跡指定。
奈良市教育委員会発足。奈良文化財研究所設立。

・昭和 28 年（1953）一条通りの拡幅、平城宮跡第一次調査。

・昭和 35 年（1960）奈文研・平城宮跡発掘調査事務所、設置。奈良遷都 1250 年祭。

・昭和 36 年（1961）近鉄検車区建設計画、保存運動により計画変更へ。

・昭和 38 年（1963）奈文研・平城宮跡発掘調査部、設置。平城宮跡国費買上決定。

・昭和 39 年（1964）国道 24 号バイパス計画、東一坊推定地の発掘調査。

・昭和 41 年（1966）古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法、公布。
西大寺一条線、当初計画決定告示。

・昭和 43 年（1968）平城ニュータウンにかかる奈良市・日本住宅公団、覚書締結。
大和郡山市・天理市・生駒町・奈良市で北和都市連合協議会発足
国道 24 号線バイパス計画変更。

・昭和 44 年（1969）西大寺公民館、落成。

・昭和 45 年（1970）奈良県『大和都市計画』で市街化区域／調整区域の仕分け。

・昭和 46 年（1971）平城ニュータウン起工式。

３．1970 年代前半の大和西大寺駅周辺の開発と調査

平城ニュータウン建設構想を契機とした開発で、市道・谷田奈良線沿いにショッピングセンターや銀行が建設ラッシュ。水田が急速に減少。

・1971 年 3 月、ダイアモンドシティと近畿日本鉄道の共同出資の新会社ダイアモンドファミリーが、近鉄百貨店西大寺店を含むショッピングセンターの建設計画を発表。
・奈良国立文化財研究所が、予定地を予備調査したところ、東門の礎石と地覆石を発見。
・奈良県は、文化庁の指導のもと、西隆寺跡調査委員会を結成。
・ショッピングセンター建設予定地を、３月～５月に発掘調査（西隆寺第１次）。
→東門の礎石群を一時撤去し、工事完了ののちに原位置に復元して店舗内に保存。
・６月～７月、第一勧業銀行店舗建設に伴う発掘調査（第２次）で、塔跡を確認。
→銀行店舗の設計を一部変更して塔の遺構を、建築用地から除外し、埋戻しの上、上部に方形の花壇を造って位置を示す。
・開発計画がなされる以前に金堂跡を確認しておく必要を考慮。12 月～1972 年２月、金堂跡の学術調査（第３次）を実施。
→金堂の遺構を埋め戻し保存。
・同 12 月～1972 年３月、神戸銀行店舗建設に伴う発掘調査（第４次）で、南面築地跡確認。
→築地の遺構を埋め戻し、舗装タイルや目地の色を違えて位置を地表に表示。
・1972 年３月 14 日、日本で初めての２核ショッピングセンターである「奈良ファミリー」オープン。約８万人が押し掛けた。
・1973 年４月～７月、正強学園校舎改築に伴う発掘調査（第５次）で、掘立柱建物、井戸などの遺構を確認。
・1973 年５月～7 月、住友信託銀行店舗建設に伴う発掘調査（第６次）で、南面築地、井戸などの遺構を確認。
→築地の遺構を埋め戻し、舗装タイルや目地の色を違えて位置を地表に表示。

４．1980 年代末から 90 年代初頭の開発と調査

奈良市が大阪のベッドタウンとして発展、西大寺が奈良市の副都心化。大型店出店ラッシュで大規模開発が進む。

・1979 年「奈良ファミリー」増床を申請したが、行政指導により取り下げ。
・1981 年、奈良市商店街振興連絡協議会が、奈良市議会に大型店出店凍結請願。
・1982 年、西大寺一条線街路整備事業、路面を上げて遺構保護することを条件に事業認可。
・1986 年３月、大型店出店凍結請願が取り下げ。
・1987 年「奈良ファミリー」の改築、大幅な増床、立体駐車場の建設計画。

・1989 年～1991 年、ショッピングセンター予定地の発掘調査。
・1990 年、西大寺駅北地区商業地について、地区計画制度導入（商業地では県内発）。
→金堂回廊（東北隅）の遺構は埋め戻し、遺構復元表示。
→東門の柱位置、店内に平面表示か。
→東門跡、塔跡、南面築地跡、解説板の設置か。
・1991 年～1992 年、西大寺一条線の北３分の２の事前発掘調査。
・1992 年 11 月「ならファミリー」リニューアルオープン。

５．1990 年代末から 2000 年代初頭の開発と調査

西大寺一条線の全面開通。奈良市の国際文化観光都市としての取り組みが活発に。

・1998 年　「古都奈良の文化財」世界遺産登録
・1999 年　西大寺一条線、南３分の１の事前発掘調査（西隆寺中央伽藍）。
・2000 年～2001 年　複合商業施設建設の事前発掘調査（西隆寺域西半部）。
→西半部の遺構の解説板「西隆寺の記憶」設置（2005 年ごろ内容更新）。
・2002 年 10 月、サンワシティ西大寺、竣工。

６．そして、現在

ターミナル駅として、さらなる進化。南北をつなぐ一体的なまちづくりへ。

・2016 年、奈良市と近鉄、西大寺駅南北自由通路の整備事業着手。
・2018 年、国営平城宮跡歴史公園、第一次開園。
・2020 年４月、南北自由通路供用開始。
奈良県、西大寺駅の高架化、平城宮跡からの移設案を提示。
・2021 年３月、南口駅前広場、供用開始。
・2023 年４月、北口駅前広場、供用開始。
「歩行者利便増進道路」（ほこみち制度）を活用する計画。
・2023 年６月、近鉄線移設案の凍結。

【参考文献】

奈良県教育委員会『西隆寺金堂跡発掘調査概報』1972、西隆寺調査委員会『西隆寺発掘調査報告書』1976、奈良国立文化財研究所『西隆寺発掘調査報告書』1993、奈良市教育委員会『西隆寺跡発掘調査報告書』2001、『奈良文化財研究所紀要 2001』『同 2005』、中本宏明『奈良の近代史年表』1981、『平城ニュータウンのあゆみ』1997、『ジャスコ三十年史』2000

図１　東門の遺構、南から　1971 年

図２　東門跡 解説板と遺構表示、北から 1992 年

図３　塔の遺構、北から　1971 年

図４　塔跡　遺構表示、北から　1973 年

図５　南面築地の遺構、東から　1972 年

図５　南面築地跡　遺構表示、西から　1992 年

図７　回廊東北隅の遺構　東から　1990 年

図８ 回廊東北隅 遺構表示、北から、1992 年